



4月からトラックシーズンが開幕しました。持久力だけでなく、終盤のスピードやレース戦略などが求められるトラック種目でも多くの選手が活躍しました。

兵庫県で開催されたアシックスチャレンジの10000mに古賀淳紫選手とアッパイナ・デグ選手が出場しました。古賀選手は積極的な走りで見事な位置取り、冷静にレースを進めました。終盤はスパート力のある選手に遅れをとってしまいましたが、自己ベストに迫るタイムでフィニッシュ。着実に力が付いてきています。

福岡県選手権の5000mには、新入部員の加藤風磨選手が出場。力のある選手を抑え、トップでフィニッシュしました。短距離の大瀬戸一馬選手は、他を寄せ付けぬ圧巻の走りです。100m、200mの2冠を達成しました。

地元で開催された九州実業団陸上には10名の選手が出場

しました。例年に比べハイペースでレースが進んだ5000mでは古賀淳紫選手、加藤風磨選手が奮闘。終盤は2人の争いとなり、古賀選手がわずかに先行してフィニッシュ。古賀選手は入社して初のタイトルを獲得しました。

6月初めに開催された北九州市民選手権では、新入部員の野村峻哉選手が実力ある選手相手に堂々のレースを展開。チーム加入後長い間怪我に悩まされましたが、ブランクを感じさせない走りです。自己記録を更新しました。

長崎ナイターの5000mでは五郎丸真翔選手、加藤風磨選手が自己ベストを更新しました。加藤選手は惜しくも13分台には届きませんでしたが、シーズン入りしてから好調を維持しており、若手エースとして期待を膨らませました。

下半期からは駅伝に向けて照準を合わせていきます。選手達の今後の活躍をご期待ください。

選手コメント

加藤 風磨

トラックシーズンに入ってから徐々に調子を上げていくことができ、6月には5000mの自己記録を更新することができました。この調子で夏の大会や合宿などを乗り越えて、秋・冬の駅伝シーズンに活躍できるように頑張ります。

野村 峻哉

上半期を振り返ると、怪我の影響で思うように練習をすることが出来ませんでした。6月の記録会で5000mの自己記録を更新できたのは大きな自信になりましたが、まだまだ力不足だと感じます。これからしっかりと走り込んでいき、ニューイヤースタートではチームに大きく貢献します。



加藤 風磨選手(長崎県ナイター記録会)



野村 峻哉選手(北九州市民選手権)

◆ 18年4月～7月の主な戦績

日程	大会名	成績
4月 7日	第27回金栗記念選抜陸上中長距離大会	5000m: アッパイナ・デグ 総合5位、高橋尚弥 総合30位、古賀淳紫 総合75位
4月 22日	第66回兵庫リレーカーニバル	10000m: アッパイナ・デグ 総合9位、古賀淳紫 総合22位
5月 3日、4日	第72回福岡県陸上競技選手権大会	100m: 大瀬戸一馬 1位 200m: 大瀬戸一馬 1位 5000m: 加藤風磨 1位
5月 5日	第29回ゴールデンゲームズinのべおか	5000m: 古賀淳紫 H組9位、アッパイナ・デグ C組18位 10000m: 高橋尚弥 5位
5月 13日	第28回仙台国際ハーフマラソン	中本健太郎 24位
5月 19日、20日	第61回九州実業団陸上競技選手権大会	5000m: 古賀淳紫 1位、加藤風磨 2位、野村峻哉 6位 5000m: 高橋達也 4位
6月 2日	第40回北九州市民選手権陸上競技大会	5000m: アッパイナ・デグ 総合3位、高橋尚弥 総合18位、野村峻哉 総合22位 (自己記録更新)
6月 22日～24日	第102回日本陸上競技選手権大会	100m: 大瀬戸一馬 予選5組6位
6月 23日	第1回長崎県ナイター記録会	5000m: 五郎丸真翔 8組15位 (自己記録更新)、加藤風磨 9組10位 (自己記録更新)